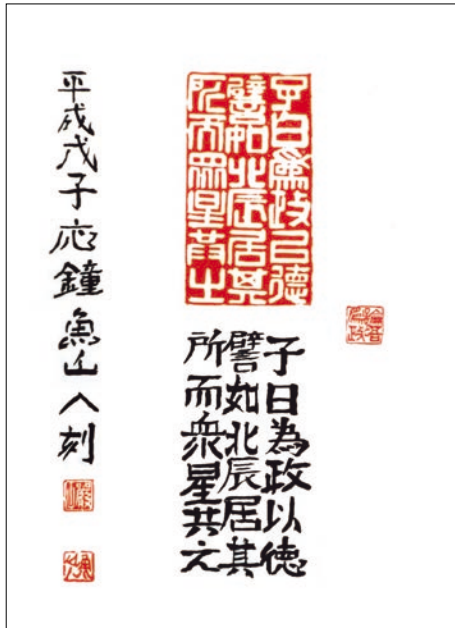




2015-2016年度 R.I. テーマ



「篆刻」石崎 巖 会員



- ◆ 会長 木下 茂 ◆ 幹事 宮崎 繁幸
- ◆ 発行 会報委員会 10月担当 畠 山

2 R C 合同夜間例会
滑川 R C 1847回 魚津西 R C 2331回

- ◆ 点 鐘 木下 茂 会長
- ◆ 司 会 宮崎 繁幸 幹事
- ◆ ローターリーソング 「それでこそロータリー」
- ◆ ゲスト
滑川 R C 会長 高 緑 不二子 様
滑川 R C 会長エレクト 深 井 眞三郎 様

◆ 会長挨拶
連日秋晴れが続き、さわやかな毎日が続いています。
今年は北陸新幹線開通のせい、仕事のうえでも私的なつきあいでも人の来訪が多く、週末何組も重なっての対応に追われる日もあります。
魚津市役所でも会計審査が、銀行では金融庁が入ると聞きました。
中央では、どうせ行くなら北陸方面ということなのでしょう。
今日は、滑川ロータリーさんとの恒例の合同例会です。
秋の夜長、互いのクラブの思いを語り合える機会でもあります。
有意義なひとときを過ごしましょう。

- ◆ 出席報告 (鈴木委員長)
 - ・ 出席率 会員30名中(出席免除者2名) 19名 67.85%
 - ・ 欠席者 芦崎さん、原君、石崎君、慶野君、小林君、南君、鈴木君、関君、富川君の諸君
 - ・ 前々回 (2329回) の修正 メーク・アップ なし
- ◆ ニコニコボックス
 - ・ 窪田琴美さん：オリビアちゃん、源七のお手伝いをしてくれたヨ。ワイ！佐々木さんありがとうございました。
 - もう一つ、ほしいなーって言った丸太をいただきました～。ワクワク！三浦さん、ありがとうございました。

今週までの合計額 246,000円

- *引き続き懇親会へ*
- ★挨拶 滑川 R C 会長 高 緑 不二子 様
 - ★乾 杯 滑川 R C 会長エレクト 深 井 眞三郎 様
 - ★手につかないで



第2332回例会 10月27日(火)

- ◆点鐘 木下 茂 会長
- ◆司会 宮崎 繁幸 幹事
- ◆ロータリーソング 「我等の生業」

㊦㊦ ハッピーバースデー ㊦㊦

- ・10月28日 慶 野 夫人
- ・10月31日 廣 濱 夫人

◆ 会長挨拶

2015-2016年度地区大会が10月24日、25日白山市で開催され、参加してきました。

今年度のテーマ「Be a gift the world」(世界へのプレゼントになろう)のもと、1,300人のロータリアンが一同に会し、ロータリー活動の理解を深めあう大会でした。

初日の指導者育成セミナーでは、NPO法人テラ・ルネッサンス理事、鬼丸昌也氏のアフリカにおける子ども兵の社会復帰支援など、ボランティア活動の現状について、また、小船井修一第2500地区パスト・ガバナーは、ロータリーの「職業奉仕」の具体的かつ実践的な話をされました。

大会2日目は、魚津ロータリークラブ手配のバスに同乗し、白山市松任会館での本会議に臨みました。

記念講演は、金沢とゆかりの深い作家、五木寛之氏の仏教「利他のこころ」と題し、日本人のこころの持ちどころについて、有益な講話を聴くことができました。

白山市という自然に恵まれた地に、金沢地区各クラブをとりこんでの大会進行は、来年の日台ロータリー親善会議を念頭にあざやかな演出でした。

参加された皆さん有難うございました。

◆ 出席報告 (鈴木委員長)

- ・出席率 会員30名中(出席除者2名) 23名 82.14%
- ・欠席者 原君、久津谷君、小林君、長田君、吉田君の諸君
- ・前々回(2330回)の修正 原君:78.57%→82.14%

◆ 幹事報告

- ガバナー事務所より
 - ・2015-2016年度地区大会の御礼
- ガバナー事務所より
 - ・ガバナーノミニエ(2018-2019年度ガバナー)決定宣言
- 魚津しんきろうマラソン実行委員会より
 - ・第36回魚津しんきろうマラソンの協賛について
- 青少年育成魚津市民会議より
 - ・「子ども・若者育成支援強調月間」特別研修会の開催について
- 社会福祉法人新川老人福祉会より
 - ・創立40周年記念式典の御礼

☆11月度例会案内

	活動内容	例会場
11/3(火)	休会	
11/10(火)	卓話担当：窪田さん	喜楽
11/17(火)	夜間例会	喜楽
11/24(火)	卓話担当：長田君	信金5階

★11月のSAA補助

長田君・宮田さんの諸君です。よろしくお願ひします。

◆ニコニコボックス

- ・石崎 巖君：先日10月23日、新幹線“かがやき”にて女房と2人日本橋明治座で行なわれた“厚生労働大臣表彰”を食品衛生功労者という事で、いただいて来ました。
※これに対する心づけは一切なしという事で、お願ひいたします。



- ・慶野達二君：一年皆出席を祝っていただきました。今後も続けることを念じております。

今週までの合計額 262,000円

◆卓話「自動車屋を引き継いで」



吉野洋美さん

株式会社吉田自動車の吉野洋美です。

今日は「私の会社の紹介」と「女性である私がなぜ、自動車整備工場を営むことになったのか…」を少しお話したいと思います。どうぞ宜しくお願ひいたします。

魚津市大光寺にて自動車整備工場を営んでおります。

創業は昭和42年です。以来、地域に密着した老舗工場として、48年間営業して参りました。

創業者は、主人の父ですが、父が亡くなって主人が後を継ぎ、3年前からは私が引き継いでおります。

現在は、整備士4名と私の計5名でやっております。

北陸信越運輸局の指定工場です。

自動車整備工場には指定工場と認証工場があります。

うちの様な指定工場には、国家資格を持った検査員がおりますので、陸運支局に代わって検査を行う事が出来る工場です。

指定工場は、車検の際に陸運支局に車を直接持込みしなくてもいいという事から、お客様にお車を早くお返しできるというメリットがあります。

現在、魚津市には、指定工場が31事業所、認証工場が25事業所、合わせて56もの整備工場があります。整備工場の数が他の市町村に比べて多い事と、ディーラーさんの数も18事業所と大変多いので、魚津市は激戦区と言われております。ディーラーさんの顧客の囲い込み競争が激しくなる中、私たちのような民間の整備工場は何とかして生き残ろうと、日々頑張っております。

吉野自動車の特徴は、バイクから大型自動車まで、幅広いお車の車検整備ができるということところです。大型車を車検できる整備技術とまた、それを検査するテスターを備えているという所が他の町工場さんとの違いではないでしょうか。現在、魚津市内で、大型自動車の車検整備ができる工場は、ディーラーさんも含めて6事業所と大変少ないです。民間の町工場では、うちを含めてわずか3工場しかありません。

吉野自動車には大型車の整備できる、経験豊富な整備士がおりますので、お客様のいろいろな要望にもお応えする事が出来ます。

その他、大型自動車だけではなく、バイク、軽自動車、普通自動車等においても、ベテランの整備士が自信をもって、修理や車検整備を行っております。最新型のお車にも対応できる、スキャンツール（故障診断機）も備えておりますので、ハイブリッド車の車検整備や、目に見えない不具合の早期発見などもお任せ下さいませ(^_^)

少し、自己紹介させて頂きたいと思ひます。

昭和45年1月25日、入善町下山（にぎやま）というところで、兼業農家の家庭の長女として生まれました。

現在45歳です。

実家では、結婚するまでの27年間を過ごしました。県内の短大を卒業し、黒部市にありますプラスチック加工会社に20年間事務員として勤務しておりました。

ちょうど5年前、私が40歳の時に、吉野自動車の事務員をしておりました主人の母が大腸がんを患ひまして、治療に専念したいというので、私は20年間勤めた会社を退職し、母の代わりに吉野自動車を手伝う事になりました。

私が吉野自動車に入って1年と少し経った頃、今度は主人が食べ物が喉につかえるというので、県立中央病院で検査したところ、食道に腫瘍が見つかりました。すでにステージ4と最も進んだ状況でした。

その年の7月の終わりに、懸命に病氣と闘っておりました母が亡くなり、痩せ細った体でなんとか母を見送った後、役目を終えホッとしたのか、主人もその2か月後の平成24年10月10日、43歳という若さで帰らぬ人となりました。主人は先代の父から、会社を引き継いでわずか5年目の事でした。志半ばにしてこの世を去り、主人はさぞかし悔しい思いをしていたと思ひます。生前、自分

が死んだ時は、「会社は続けて欲しい」というのが強い希望だったのですが、42歳の私にとっては、それはとても荷が重いものでした。私が女性であることや、自動車に関する知識がない事、何より会社を経営する事に全くの素人でしたので、このまま引き継ぐ事はとても困難だという思いでした。しかし、「お客様に迷惑をかけたくない」という思いと、その時3人の従業員がまだ働いてくれていましたので、「従業員の家族も守らなければいけない」との思いもあり、税理士さんの後押しのもと、私は会社を続けて行く決心をしました。それからは、私と3人の従業員とそれぞれが責任をもって、自分の役割を果たし、協力して今日までやってまいりました。今は、本当にいいスタッフに恵まれて良かったなと思います。

今月の10月10日で主人が亡くなって、丸3年が経ちましたが、お客様をはじめ地域の方、また主人が生前お世話になったJ Cの方々等…たくさんの方々に支えられながら、今こうして仕事を続けられている事に本当に感謝の気持ちで一杯です。

まだ、新・吉野自動車は走り出したばかりです。これから、たくさんの苦難が待ち受けている事と思いますが、父や主人が守ってきた、昔からの吉野自動車の良いところを残しつつ、めまぐるしく進化する自動車に対応できる技術を取り入れながら、地域に愛される老舗工場として、今まで支えて下さった方々に恩返ししていきたいと思っています。

これからは、健康に気を配りながら、常に笑顔と感謝の気持ちを忘れず、主人が繋いでくれた沢山の方々との縁を大切にしていきたいと思っています。

1日でも早く、ロータリークラブにふさわしい人間となれますように、努力して参りたいと思います。今後ともご指導くださいます様宜しくお願い申し上げます。



国際ロータリー第2610地区 2015-2016年度 地区大会



地区大会が10月24日(土)～25日(日)、白山RCホストクラブで開催されました。



受入交換留学生のオリビア・スミスさんも、壇上で自己紹介をしました。